



運営委員長 西尾 誠さん NSKワナー労働組合 執行委員長	副運営委員長 鈴木 敏さん 豊田合成労働組合 森町支部 支部書記長	副運営委員長 福山 誠樹さん ヤマハ発動機労働組合 袋井支部 支部執行委員長	副運営委員長 加古 真也さん ショーワ労働組合 浅羽支部 支部副書記長	河村 和彦さん 袋井支店 支店長
--	---	--	---	------------------------

今回の
運営委員会

袋井支店 FUKUROI SHITEN

このコーナーでは、独自の活動を展開する運営委員会の様子を紹介していきます。

運営委員会とは…

会員(組合)の代表者と(ろうきん)の営業店職員で構成される組織。(ろうきん)の運営を民主的に行うため、理事会に向けて各員の率直な意見を発信するとともに、理事会で決定した方針や事業計画を各営業店の立場から、より具体化して地域会員・勤労者に展開しています。



西尾/毎月の運営委員会の進め方については、皆さんがなかなか発言しにくいとのことから、全体の取組み内容、報告や会議の中心

「あるじゃん」を
実現するために
西尾/袋井支店の運営委員会は15会員16名で構成されています。組織人数が40名から1,000名位の労働組合となつていますが、専従のいる組合が1つしか無く、ほかは皆さん非専従となるため、取組みに關したの難しさがあつます。また互助会が6割を占めて、運営委員会の活動内容が伝わりにくいなど、互助会も含めた具体的な取組み方法の模索が課題となつて



「働く仲間のあるじゃんろうきん！」
皆さんの耳に残る、いつでもへるうきんを
思い出してもらえるように…思いを込めて!!



福山/活動の中心はセミナーを開催することですが、昨年実施した中で印象に残つた取組みは、袋井市内の小学生を対象に、市の承諾を得て、「ろうきん絵画コンクール」を夏休みの宿題の一つとして加えてもらえたことです。将来の夢働いてる姿をテーマに描いた絵を提出いただき、101点の作品の応募があり、参加した小学生はももちろんご両親を含めた地域の多くの方々へ(ろうきん)に足を運んでいただけよう作品を袋井支店内に掲示し、優秀作品は「ろうきん祭り」で表彰

「学ぶくんの取組み」
となる具体的な各取組みについても、5~6人のグループによる分散会形式で行つていきます。現在は「学ぶくん」「広子ちゃん」「祭コ(マツコさん)」という3つの部会グループを作り、副運営委員長がそれぞれのリーダーを務め年間スケジュールを立てて取組んでいます。

「祭コ(マツコ)さんの取組み」
加古/ろうきん祭りの実行委員を担当しています。学ぶくんの「絵画コンクール」の表彰式開催、広子ちゃんの「運営委員会ニュース」への「ろうきん祭り」情報の掲載依頼等、コラボレーションと情報共有が大切な仕事となつていきます。昨年の「ろうきん祭り」は天候にも恵まれ、会員の皆様、今まで(ろうきん)に足を運んだことのない地域の皆様も含め、約450名にご来場いただきました。(へるうきん)を知ってもらうためのイベントとしては大成功だったと考えています。

「広子ちゃん」の取組み
鈴木/大きく分けて3つの取組みをしています。①「自組織の活動をグループの中で共有しより良くしよう」時期に合わせたPR方法、商品選り等も研究しています。②「ろうきんを外に広めよう」マム・コープ・マックスパリュの店頭でティッシュ・チラシを配布し、一般の主婦など組合員以外の新たな層に広めています。③「運営委員会の活動を会員の皆さんに広めるために」グループのメンバー自身が順番で担当し「運営委員会」の発行物をしてい

ました。また、今年は組合員に向けたセミナーの開催を予定していますが、若い方向け、定年を控えた年齢の高い方向けと、目的と対象を絞って参加しやすい内容でご案内したいと考えています。

次回
どの支店に
訪問するか楽しみに！

加古/ろうきんの良さを伝えるためには、まず使ってもらわなければならぬ！使ってもらうためには、もつと我々が真剣に考えなければならぬ！たとえは自分で使つて「マイプラン」はとても便利なカードだと思ふんです。カードローンという性質上積極的に使つては言いきくのですが、身をもって自分が感じていることを伝えることができれば、理解してもら

